

# 2021年度 自己評価・学校関係者評価報告書

2021年3月

学校法人亀ヶ谷学園

幼稚園型認定こども園・宮前幼稚園

## ① 園の教育目標

- ・わくわく生き活きと輝き創造的にあそべる子ども
  - ・わくわく人が好きになり、人に好かれ、思いやれる子ども
  - ・わくわく響関の言葉が言え、秩序が気持ち良いとかんじられる子ども
- わくわく響き合える豊かなところをもった子ども

## ② 本年度に定めた重点目標

認定こども園移行初年度であることも踏まえ、以下の3つを重点目標として定めた。

- ・子どもたちの主体的なあそびや生活の実現
- ・園内研修を通して課題解決を図り、保育の質を高め、保育者の専門性を深める。
- ・在園時間が異なる子どもたちへの配慮について

## ③ 具体的評価項目の達成及び取り組み状況

項目	評価	取り組み状況
教育目標	A	園の教育目標については全ての職員が共感・理解し、日々の保育実践を通して実現できるよう努力して取り組んでいる。
保育計画	A	子どもの興味・関心から計画を立案できるように配慮している。子どもたちの興味・関心が高いあそびをウェブマッピングの方法でより遊びが豊かになるような環境を考えたり、教材研究を行ったり、子どもの姿をベースにしながら質の高い教育・保育の展開を目指している。
保育環境	A	自然豊かな園庭環境の維持・向上に努めている。 自然環境の豊かさを生かした自然あそびも積極的に行っている。 リスクとハザードの観点から、子どもにとってチャレンジできる環境はどのような環境かを常に問いながら環境づくりを行っている。
安全への配慮	A	新型コロナウイルスの感染拡大に努め、消毒・清掃など隅々まで行き渡るように意識をしていた。
チーム保育・同僚性	A	年齢・経験年数が異なる幅広い保育者集団の中で、それぞれが尊敬の念を持ちながら接することを大切にしていきたい。業務上の課題については、建設的な話し合いを通しての解決を目指している。 同僚性向上のために、大学教授に定期的に園内研修を実施していただき、法人としての重要課題として取り組んでいる。

保育内容・方法	A	一人ひとりを大切にした保育実践を職員の目標としている。子どもたちのケンカやトラブルの場面も育ちのための一場面と捉え、教育的な意図をしっかりと持って対応していけるようにしていきたい。
保護者とのかかわり	A	ポートフォリオや写真等、可視化された記録を用いながら子どもの育ちを伝える取り組みが一定の評価を得ている。外部研修の講師を務めることも多数ある。子どもを真ん中に、園と保護者が手を取り合っって子どもの育ちにかかわる関係性を築いていきたい。 また、現在副園長が大学院に進学し研究を進めている。
職務の遂行	A	それぞれ自分の役割を自覚し、責任を持って業務にあたっている。
専門性の向上	B	新型コロナウイルスの拡大により Zoom 等による遠隔研修に気軽に参加できるようになった。一方で、職員全体で集まる機会などが十分に確保できなかったことが課題である。
食育	B	感染拡大の懸念から以前のような食育活動が行なえなかった。また、保護者の試食等も中止している状況なので、感染状況を鑑みながらできる限り早く以前の食育活動を実施していきたい。
子育て支援	B	すくすく広場は引き続き中止となっている。一方で、戸外で活動できる園庭開放あおぞら広場では、平均20組以上の未就園児親子が来園し、園庭でのあそびを楽しんでいた。今後も継続して取り組んでいきたい。
地域との連携	B	認定こども園へ移行したことにより、これまで以上に川崎市や宮前区といった行政とのつながりが深まった。 子どもたちが地域に出かけたり、地域資源を生かした活動が十分に行えなかった。

#### ④ 総合的な評価結果

A	<p>新型コロナウイルスの感染拡大という難題が突きつけられたが、これまで当たり前になっていた保育の見直しを進める良い機会にもなった。特に3学期に年長児が取り組んだチャレンジ活動では、子ども一人ひとりのやりたい！を尊重しながら、保育者が得意なことを生かして子どもの活動を支えることが出来ていた。</p> <p>今後も、子どもと保育者が響き合いながら保育できることを目指していきたい。</p>
---	--

#### 評価

A：十分達成されている

B：達成されている

C：取り組まれているが、成果が不十分でない

D：取り組みが不十分である

#### ⑤ 今後取り組むべき課題

保育内容	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、食育活動や行事などが大幅な見直しを余儀
------	---------------------------------------

	なくされた。子どもにとっての経験を第一に考えながら、よりよい形を模索していきたい。
保育環境	認定こども園の特徴でもある、在園時間が異なる子どもたちへの配慮も含め、子どもたちの園生活を見直し、よりよい生活となるように工夫していきたい。

⑥ 施設関係者評価（自己評価の結果を踏まえて実施）

環境については、子どもたちにとって、とても充実した環境であり、わくわくが詰まっている園庭である。おひさまこども園の子どもたちも積極的に宮前幼稚園の園庭で遊べる環境がとても良い。また、フリーの職員がたくさんいて、安心できる。どの園児にも優しく接してくれることがありがたい。

保育内容については、新型コロナウイルスで中止になった行事などがあり残念ではあるが、運動会の分散実施や3学期のチャレンジ活動など、今の状況の中で最善の方法を取ってくださっているのが伝わりとても感謝している。

給食の試食ができないのが残念であり、子どもたちへの食事の参考にしているので感染状況が落ち着いたら復活していただきたい。

預かり保育がすぐに予約が埋まってしまい困ることがある。改善をしていただきたい。

今後も、子どもを中心とした園の運営をしてくださることを期待している。